



キスにメバル。私としてはまずまずの釣果でした

市長コラム

日っ初っ心

秋田市長 ● 穂積 志(もとむ)

北防波堤でリフレッシュ！

梅雨入り前の晴れた日に、秋田港北防波堤で釣りを楽しみました。青空の下さわやかな潮風に吹かれながら周囲を見渡すと、北に男鹿の寒風山や真山、東に太平山の峰々、遠く南には残雪をいただく鳥海山、そして眼前の日本海は小波がキラキラと輝いていました。そこに身を置くだけで、秋田の自然の豊かさや美しさを全身に浴びるような心地よさがありました。

思えばこの防波堤の一般開放は、20年以上も前、私が県議時代に釣り好きの同僚議員らとともに実現できなかった議論を交わしていたことでもありました。すぐに実は結びませんでした。秋田港有効活用協会の佐々木清治副会長（株釣り東北社会長）など関係者の尽力と国や県の協力もあり、昨年8月に「長年の夢」がかなったものです。

有料の釣り場にも関わらず大変な人気で、この日も早朝というの

にすでに多くのファンが釣り糸を垂れていました。各種割引のパスポートや回数券などもあるようですが、売れ行きは好調だとのこと。私も早速、佐々木さんのアドバイスを得ながら挑戦したところ、キスやメバルの釣果がありました。当然その日の夕飯はキスの天ぷらです。先ほどまで海を元気に泳いでいた魚をいただくことで命のありがたみに触れ、人間は他の生き物の恩恵を受けて生きていくという意味を改めて考えさせられました。

遠く沖合を新日本海フェリーの白い大きな船体が、次の寄港地をめざしているのが見え、佐々木さんが以前私に話していた「夢の続き」のことを思い出しました。コロナ禍が去ったら、大型クルーズ船のオプショナルツアーに、この防波堤での釣り体験を組み込ませたいというものです。海外からのインバウンドを含むお客さまに釣

り道具や救命胴衣など一式を貸し出し、釣り上げた魚を地元のお店で料理してもらい食べる。地酒や山の幸もあれば、それこそ船旅で寄港地秋田の魅力をまるごと堪能できます。それも見たり聞いたりするだけでなく、自らの体験も織り交ぜて。何度思い返してみても、夢のある話だと思います。

また、アフターコロナを見据えたワーケーションの推進においても、仕事と趣味（釣り）との組み合わせも、大きなセールスポイントになるかと思っています。

さて、夏に向かって気分も開放的になる季節。私たちも何かと窮屈な思いを余儀なくされていますが、北防波堤の釣りのように、秋田では少し足を伸ばすだけでコロナ禍を忘れて気分をリフレッシュさせることができます。この夏、遠出はもうしばらく我慢して、近場の野に山に海にと出かけてみてはいかがでしょうか。

◆市長の動向などは、市ホームページでお伝えしています。 <https://www.city.akita.lg.jp>

インバウンド＝旅行などで外国人が日本を訪れること

ワーケーション＝「ワーク」と「バケーション」を合わせた造語。働きながら休暇をとる過ごし方のこと

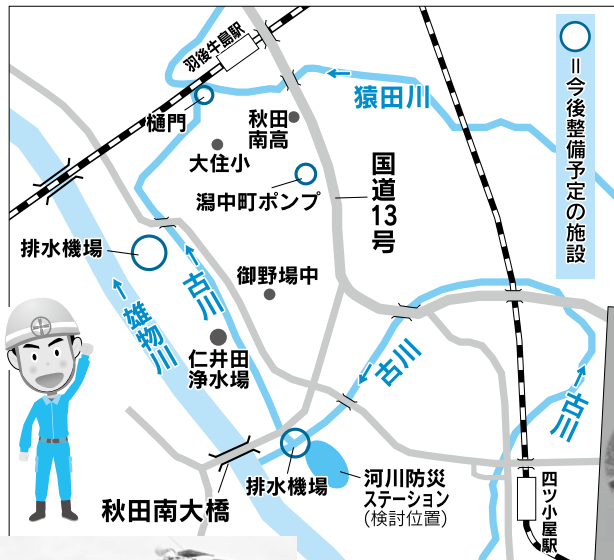
水害から地域を守る 古川流域の総合的な治水対策

●問い合わせ

道路建設課 ☎(888)5749

◆国・県・市の3者協議会を設置

平成29年7月・8月、平成30年5月に起きた豪雨では、市内の多くの箇所ですみ水被害がありました。特に、南部地域の古川流域の住宅街では、数百件の床上・床下浸水が発生しています。



広報あきた前号でもお知らせしたとおり、河川の氾濫など大規模な浸水被害に備え、迅速な排水作業を行うため、災害対策用排水ポンプ車を2台配備しました。排水能力は大型車が毎分60m³、中型車が毎分30m³です。またこの車両には、排水ポンプのほか発動発電機も搭載していることから、非常時の電源供給も可能です。

◆排水ポンプ車を配備

この計画は、リーフレット版を道路建設課(市役所4階)、南部市民サービスセンターで配布しているほか、市ホームページからもご覧いただけます。◆広報ID番号 1016764



◆治水のための整備を拡充

古川流域の浸水被害軽減に向け、御野場新町四丁目付近と仁井田字新中島付近に排水機場(古川の水を雄物川へ排水する機能)を整備予定で、現在、令和7年度の完成に向け設計を行っています。

また県では、猿田川との合流部に樋門を整備する計画に基づき、現在、その設計を進めています。

このほか、雄物川下流域周辺の防災機能を強化するための河川防災ステーション整備について、国との検討を進めています。この施設には、水防資材の備蓄やヘリポートなどの機能を備えるほか、平常時の活用方法についても検討することとしています。

◆古川の映像が確認できます

古川(大野橋)のリアルタイム映像などが、秋田ケーブルテレビ(CNA)の「しずなアプリ」で提供されています。アプリのダウンロードについて詳しくは、CNAのホームページをご覧ください。



また、古川の水位情報を市ホームページ(下記コードを読み込んでアクセスを)で配信しているほか、CNA12chでもご覧いただけますので、災害への備えにご活用ください。



秋田市地域おこし協力隊
仁井田地区で
蒔刈り体験!

秋田市地域おこし協力隊の5人が、仁井田地区コミュニティセンターの敷地内で、地域のみなさんと一緒に蒔刈りを体験しました。

女性隊員は、昔ながらの着物ともんぺを身につけて、「秋田おばこ」さながらの格好で挑戦! 地域のかたと交流しながら「季節の風物詩」をお手伝いして、秋田の文化にも触れることができました。

人口減少・移住定住対策課

☎(888)5487



刈った大きな蓆を手にニコリ♪ 秋田蓆は仁井田地区振興会のみなさんが令和2年度「地域づくり交付金」を活用して植えたものです